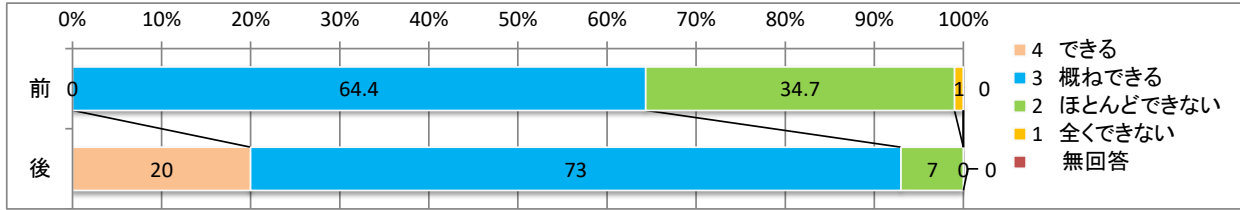


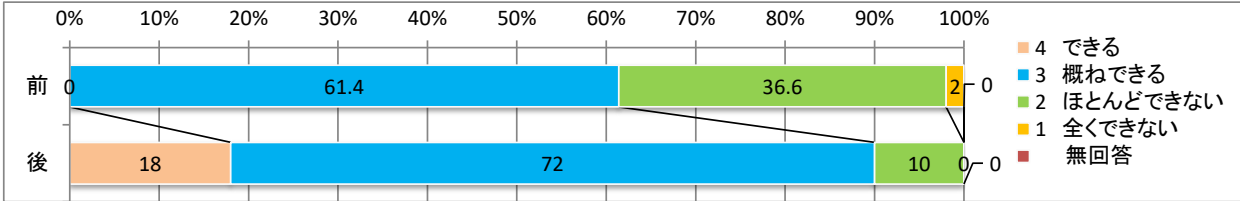
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	①ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題設定		
実施日	令和3年6月25日・29日	受講者数	100名

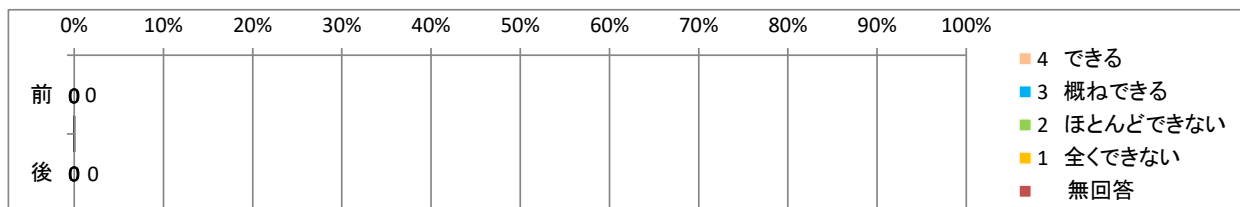
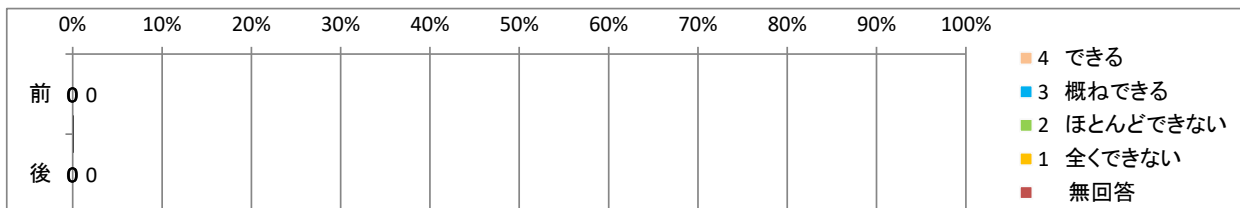
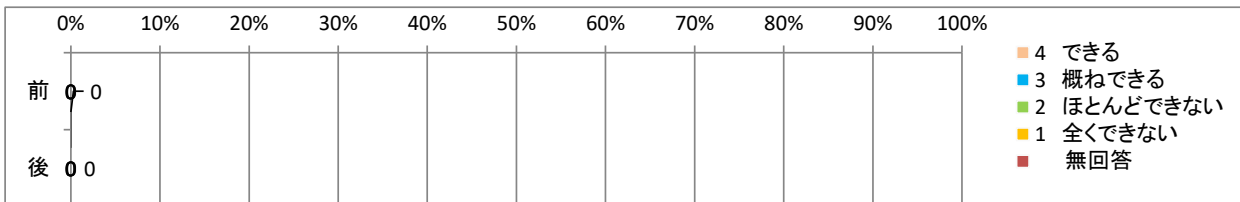
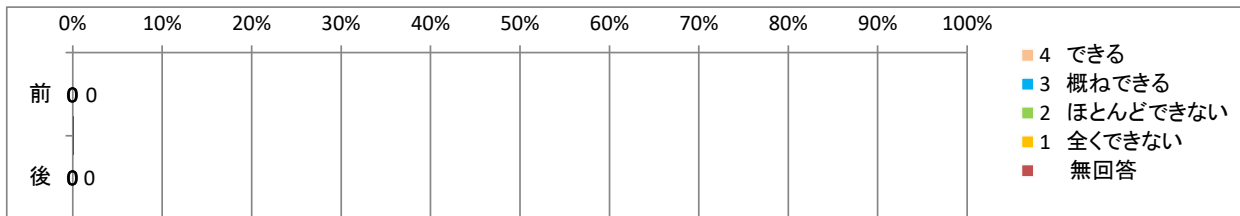
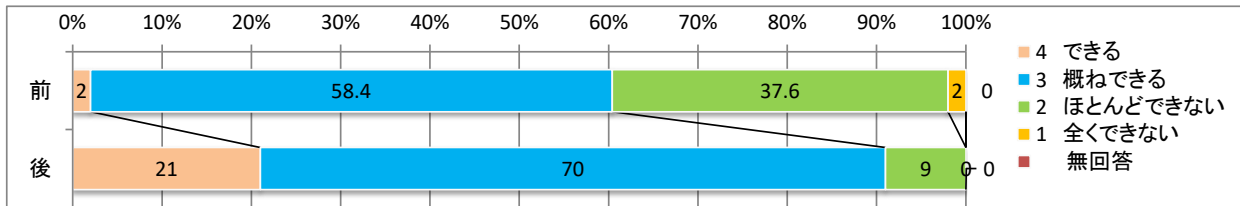
①自己のケアマネジメントプロセスの客観的な評価を行うことができる。



②ケアマネジメントプロセスの中で得意不得意を認識し活動の修正を行うことができる。



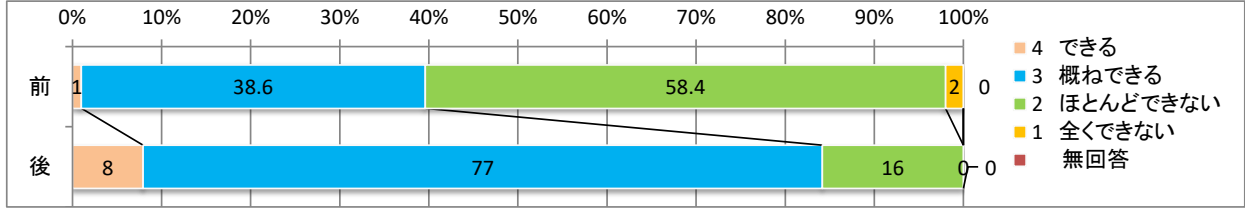
③自己のケアマネジメントプロセスの客観的な評価結果に基づき、今後の学習課題の設定を行うことができる。



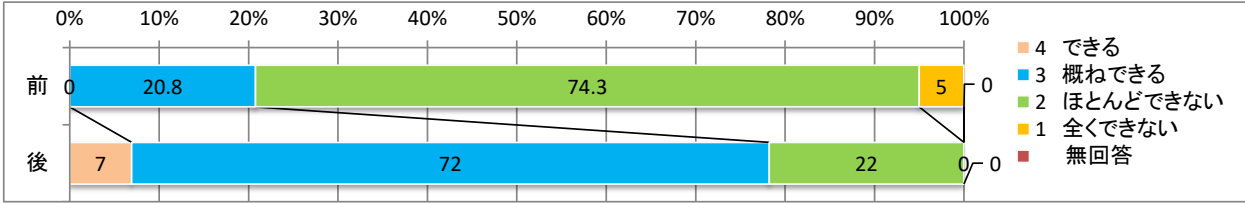
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	②介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状		
実施日	令和3年7月26日	受講者数	101名

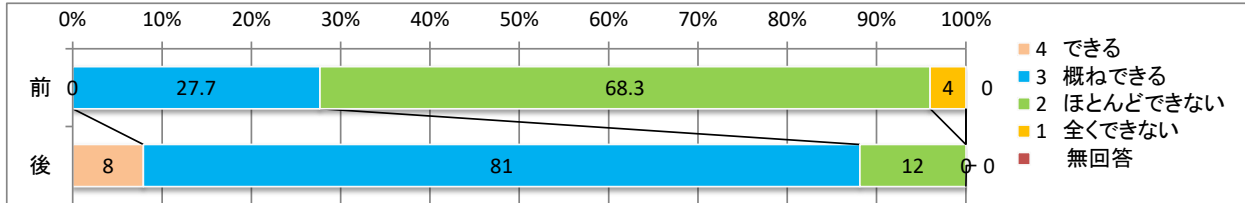
①介護保険制度等の改正の内容とその理由について説明することができる。



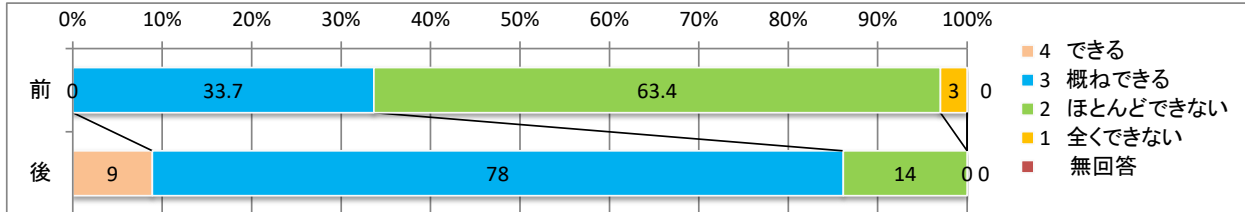
②地域包括ケアシステムの構築にむけた現状及び展開における課題について説明できる。



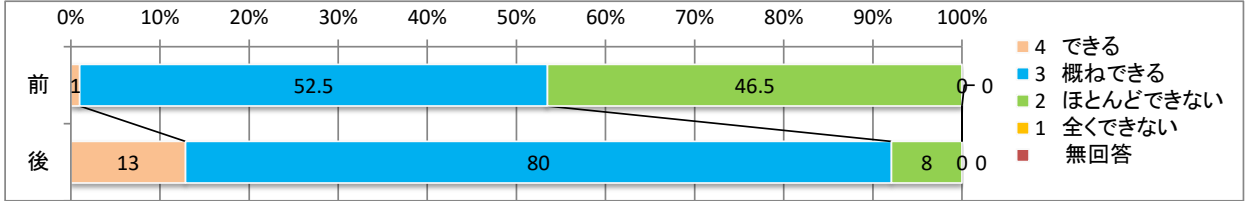
③地域包括ケアシステムの構築にむけて介護支援専門員の果たすべき役割について説明できる。



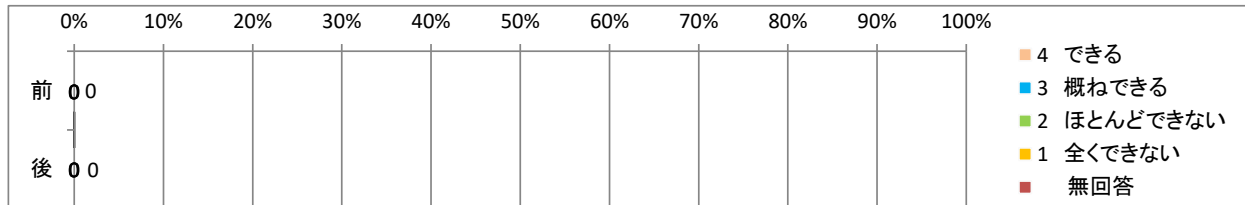
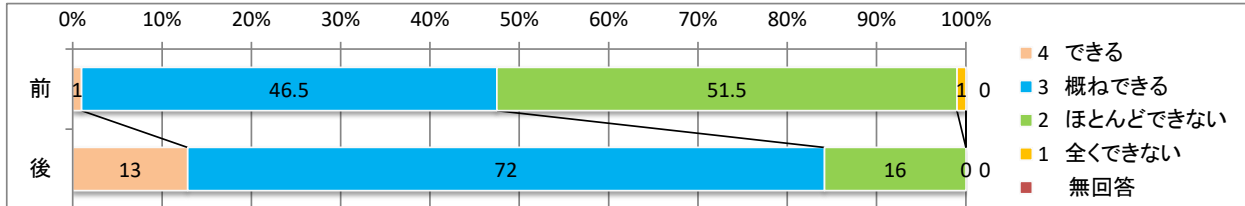
④個別支援における地域ケアチームの一員としての役割について説明できる。



⑤利用者の家族も含めた社会資源について説明できる。



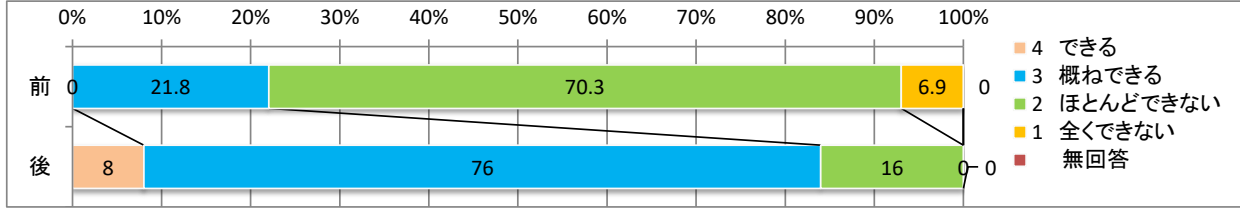
⑥利用者ニーズに応じた多様な社会資源(インフォーマルサービス等)の活用について説明できる。



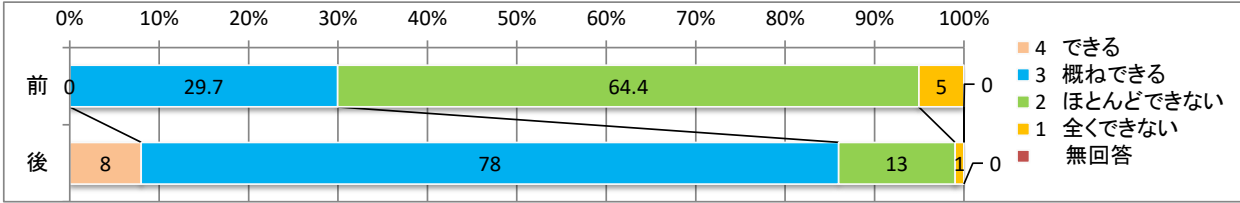
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	③対人個別援助技術及び地域援助技術		
実施日	令和3年7月26日	受講者数	100名

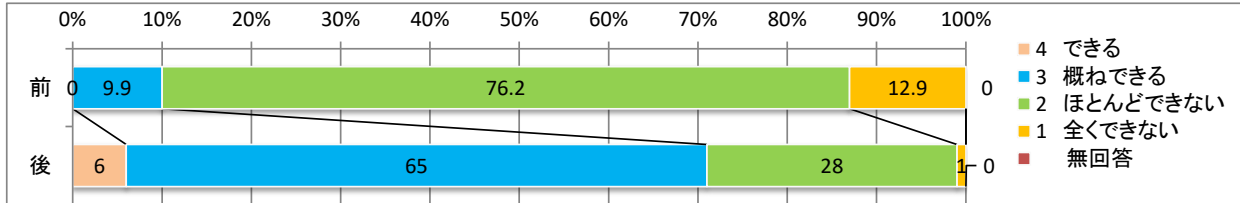
①対人個別援助技術、地域援助技術の概念・機能・目的について説明できる。



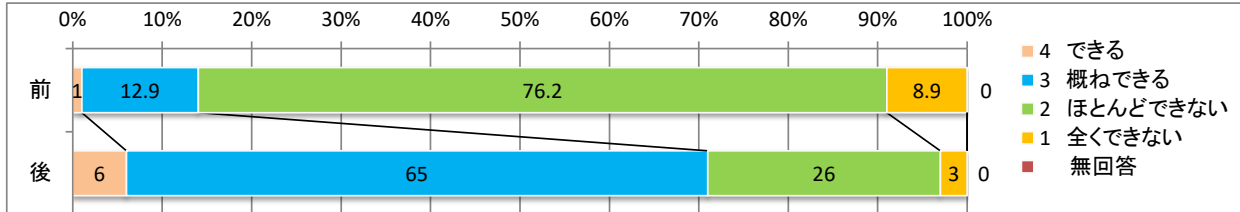
②対人個別援助技術に必要な知識・技術について説明できる。



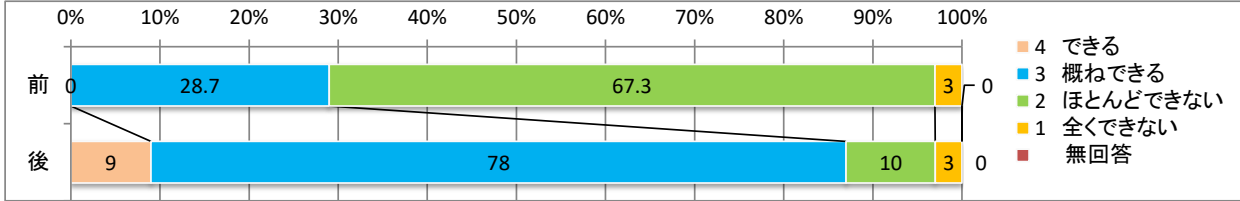
③地域援助技術の展開技法について説明できる。



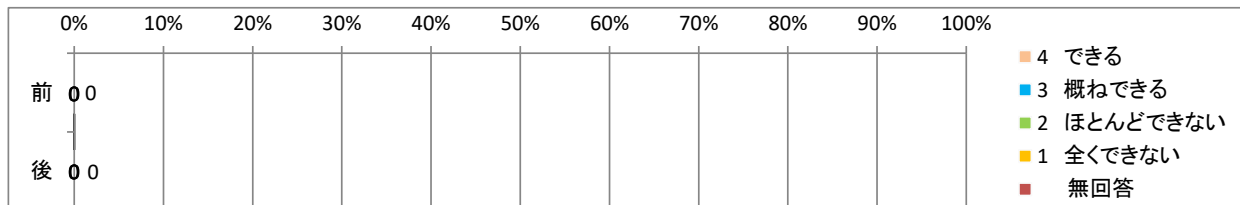
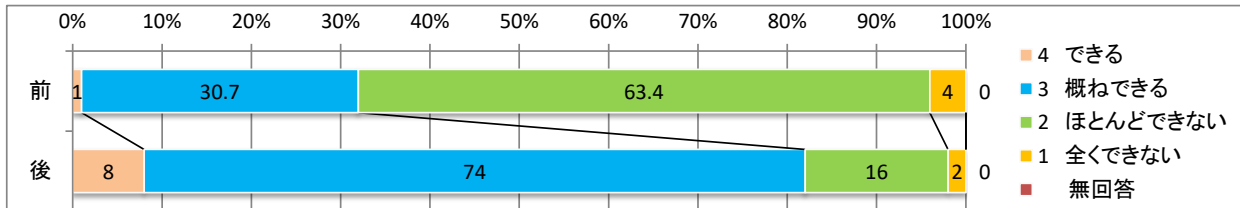
④個別事例に基づいて地域づくりや資源開発などに至る一連のプロセスについて説明できる。



⑤地域ケア会議における介護支援専門員の役割と、その活用における留意点を述べる事ができる。



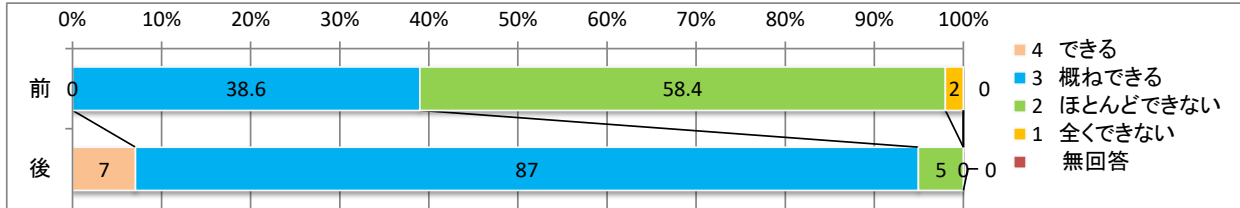
⑥保険者を含む多職種との連携の必要性と、その活用における留意点を述べる事ができる。



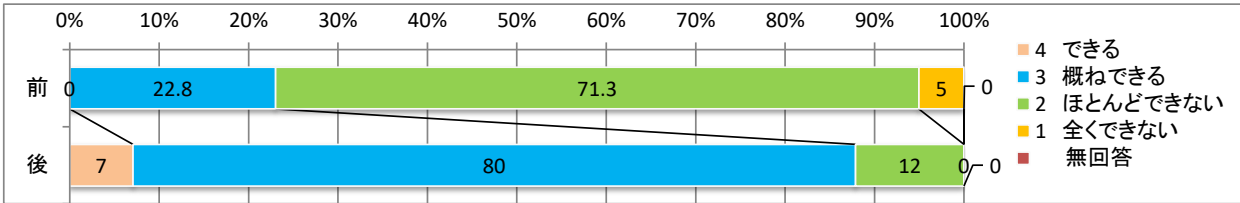
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	④ケアマネジメントの実践における倫理		
実施日	令和3年7月12日	受講者数	99名

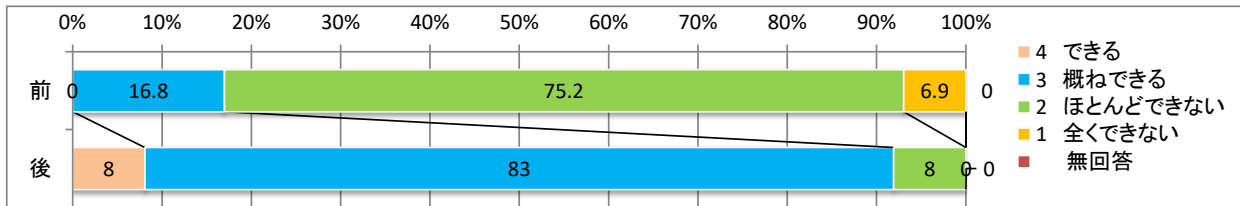
①ケアマネジメントを実践する上での介護支援専門員としての倫理原則について説明できる。



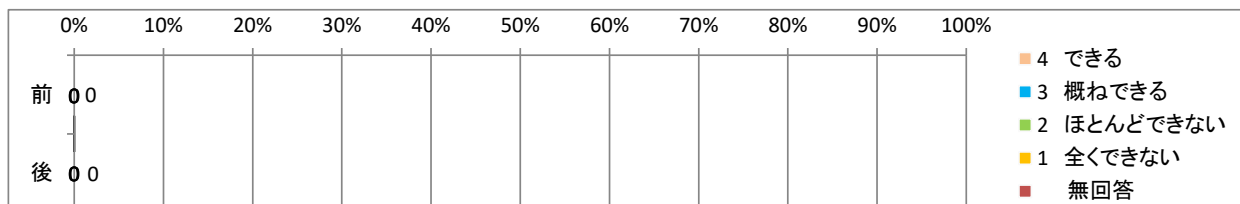
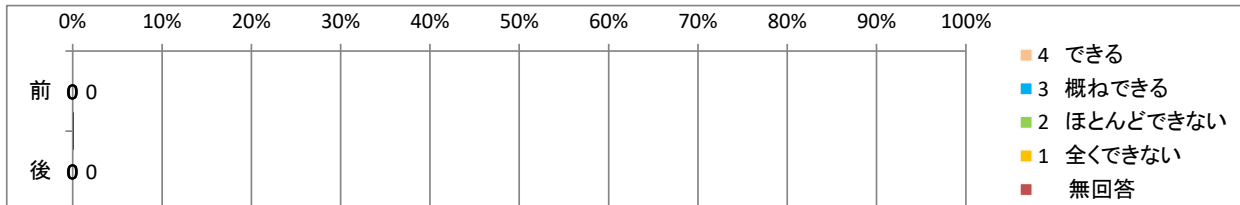
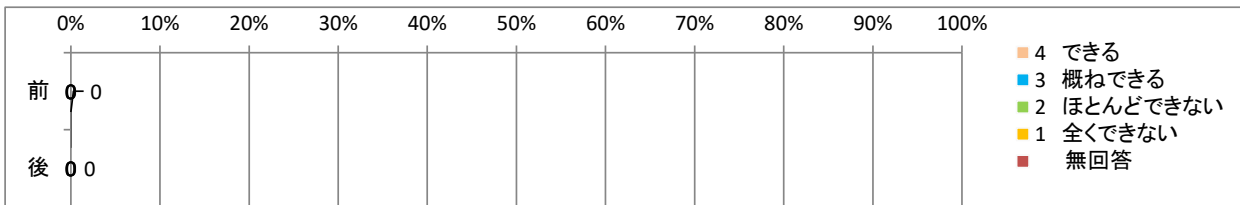
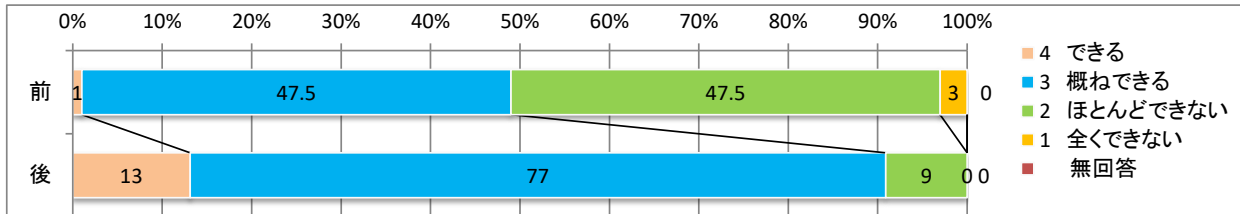
②ケアマネジメントプロセスにおいて生じやすい倫理的課題とその対応における留意点について説明できる。



③倫理的葛藤に対するチームアプローチについて説明できる。



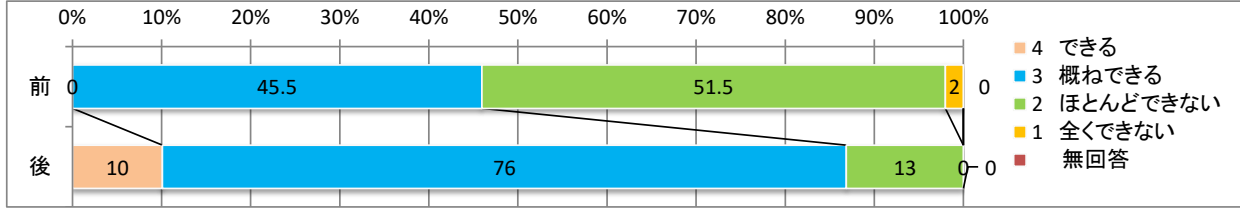
④高齢者の尊厳を守るための制度(成年後見制度・高齢者虐待防止法等)について説明できる。



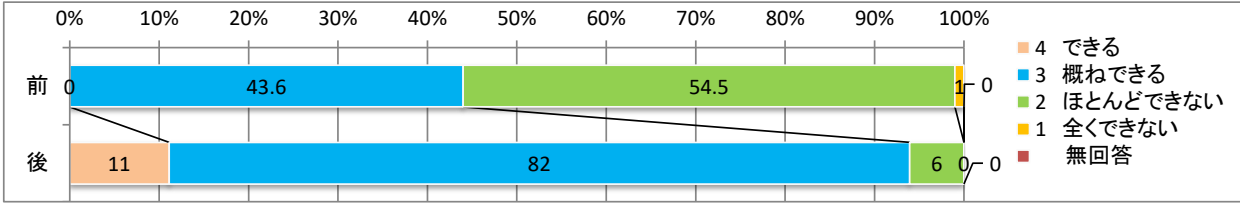
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑤ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践		
実施日	令和3年7月21日	受講者数	99名

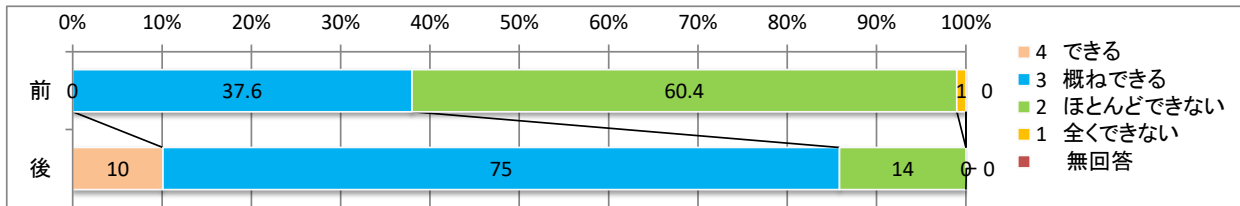
①個別支援における医療の関わりについて説明できる。



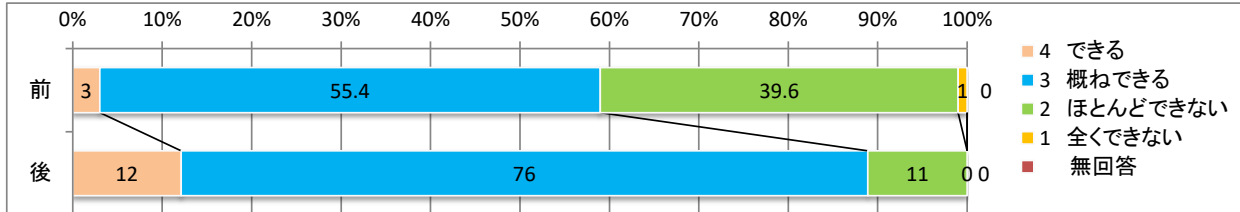
②医療機関や多職種に情報を提供する際の留意点について説明できる。



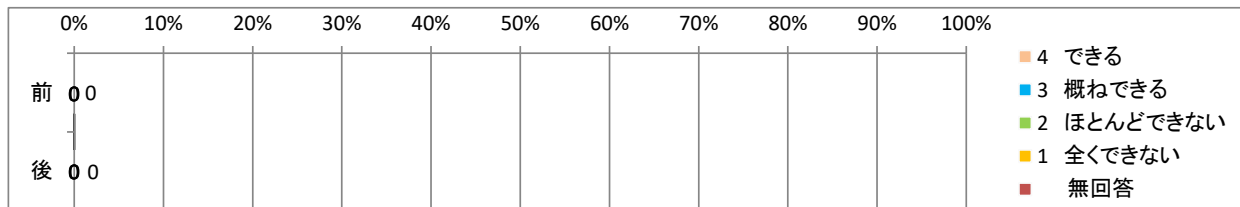
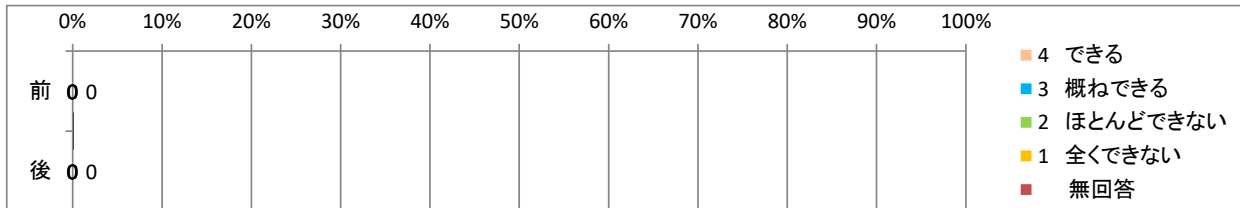
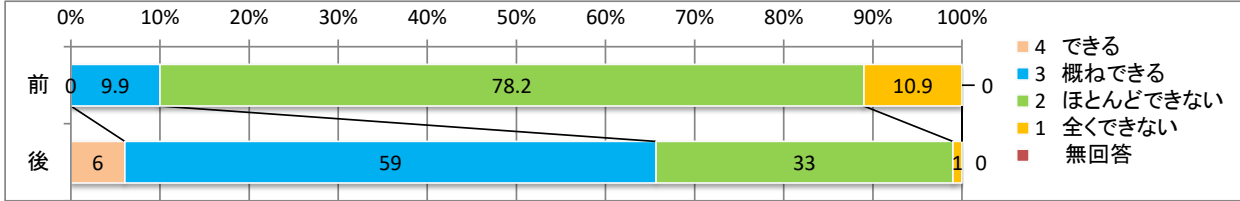
③医療機関や多職種から情報を収集する際の留意点について説明できる。



④サービス担当者会議では役割を持って多職種との効果的な意見交換を実施できる。



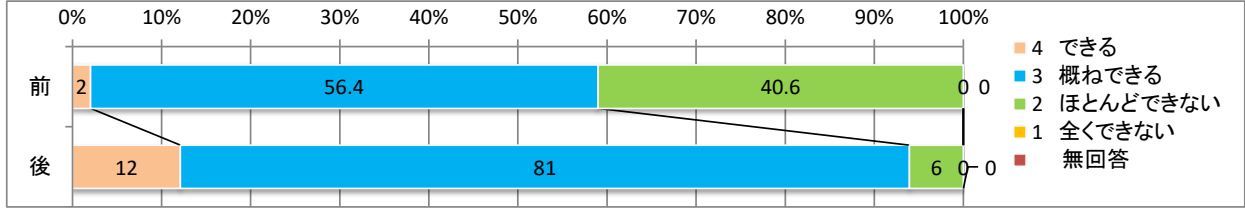
⑤地域ケア会議での効果的な協働の手法を説明できる。



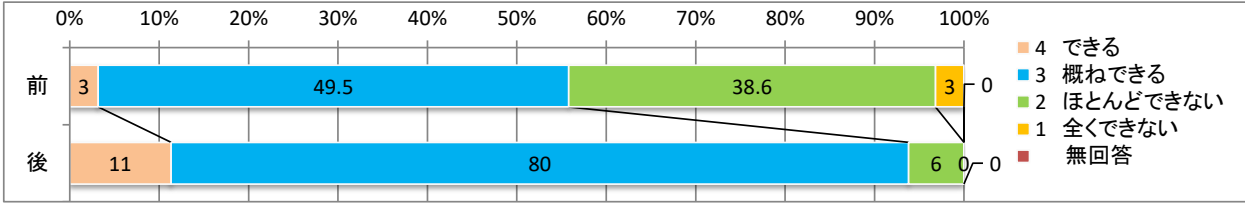
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-1 ケアマネジメントの演習「リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例」		
実施日	令和3年7月6日	受講者数	99名

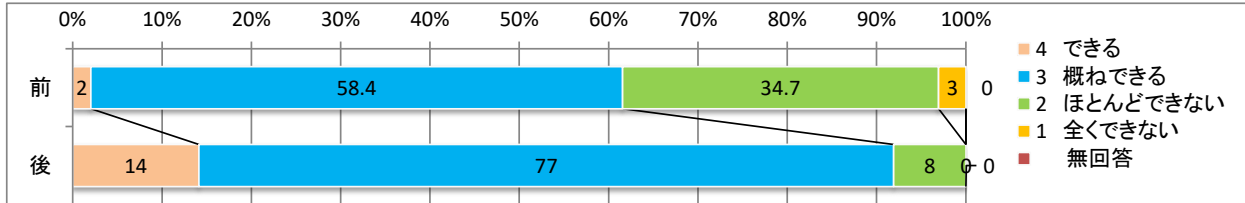
①リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具に関する基礎知識について説明できる。



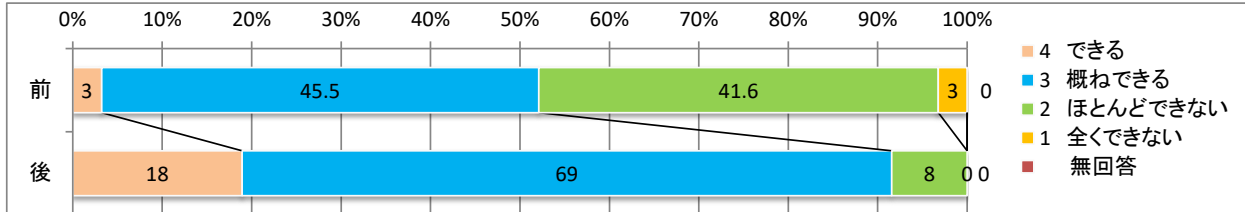
②リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具の連携についての方法について説明できる。



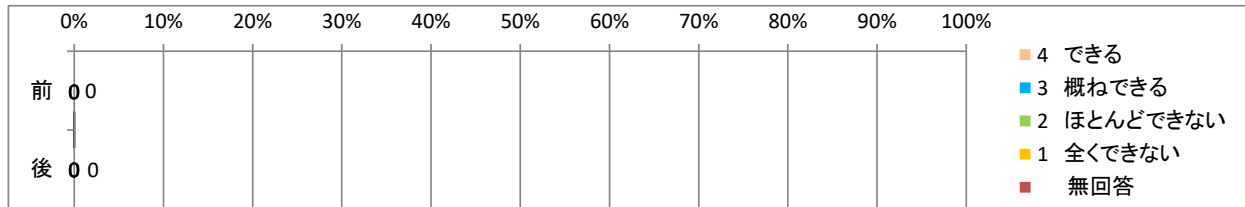
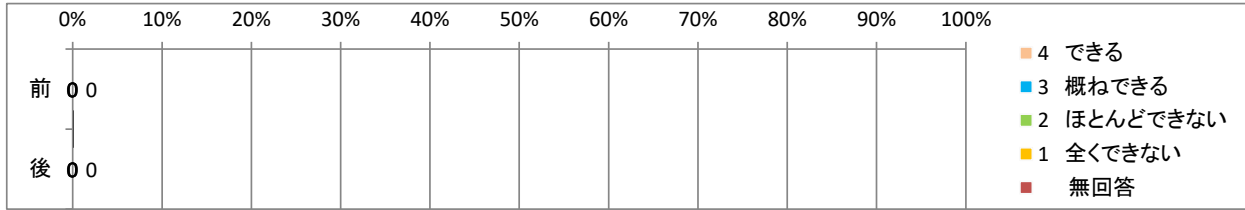
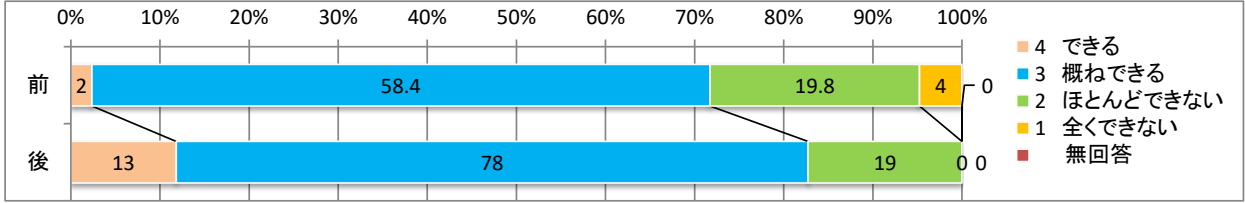
③リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具の活用について、アセスメントを実施できる。



④リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具を使用する利用者に関して、複数の活用方法の提案を実施できる。



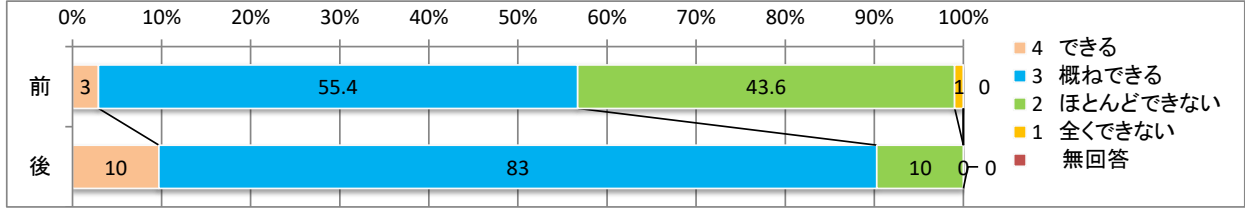
⑤リハビリテーション(口腔リハビリテーションを含む)や福祉用具の利用者効果について説明できる。



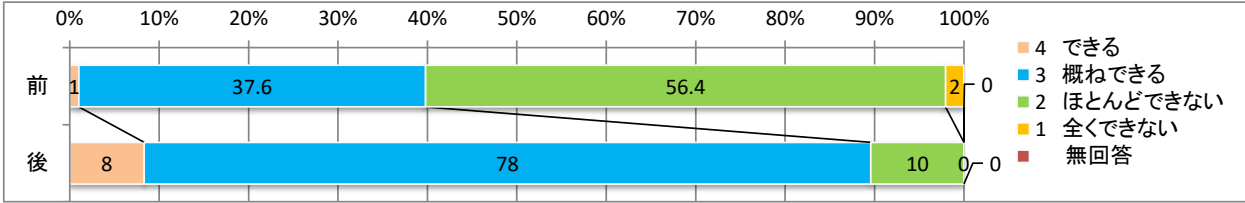
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-2ケアマネジメントの演習「看取り等における看護サービスの活用に関する事例」		
実施日	令和3年7月15日	受講者数	103名

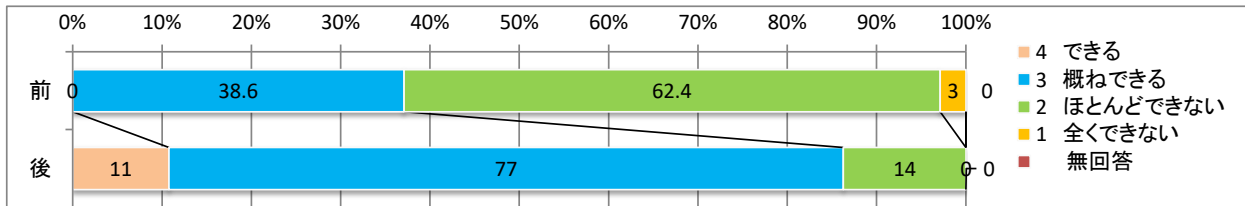
①訪問看護に関する基礎知識について説明できる。



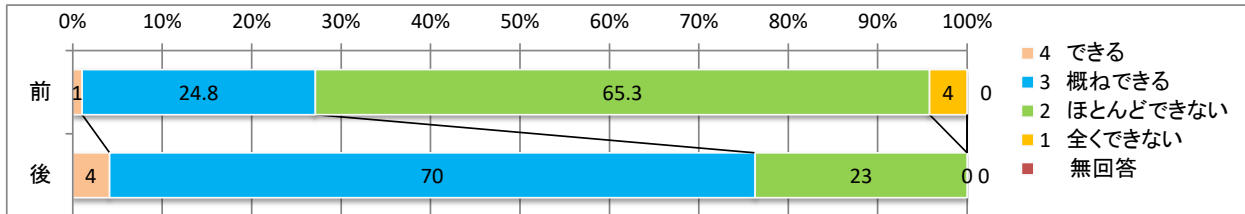
②訪問看護を通して連携についての理解や効果的な活用を実施できる。



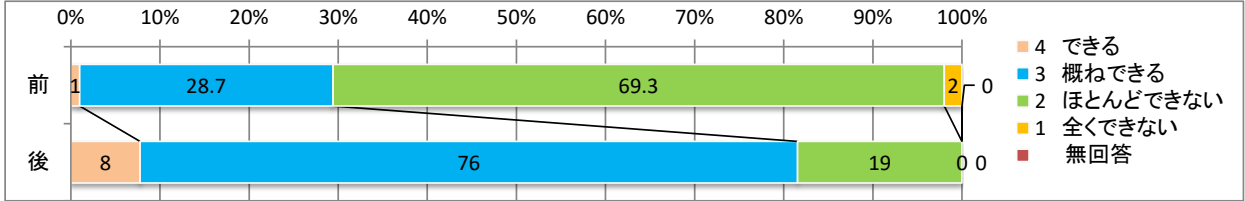
③看取り等における看護サービスの活用方法について説明できる。



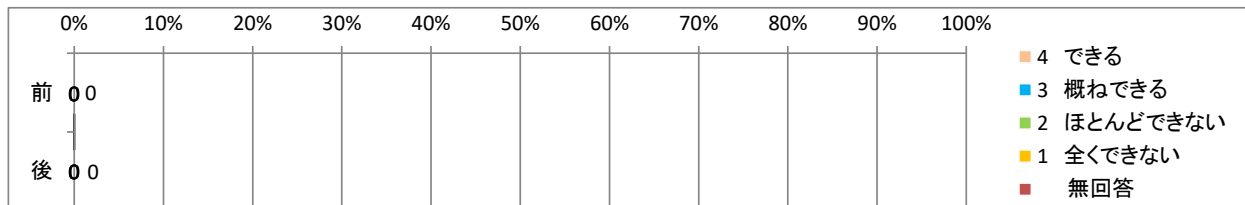
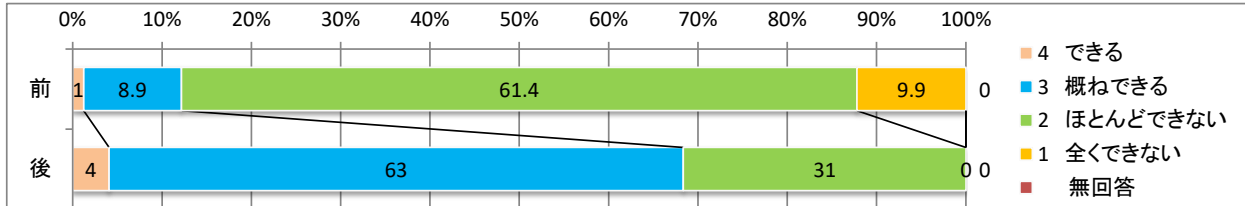
④看取り等について、多様な提案を実施できる。



⑤看取り等において利用者の気持ちの変化に応じたケアマネジメントを実施できる。



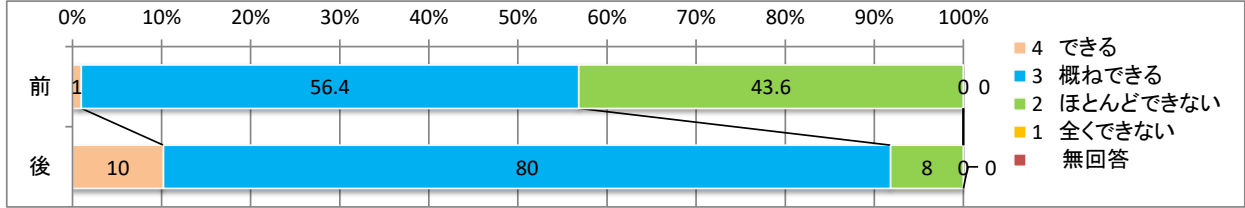
⑥看取り等における地域の社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントを実施できる。



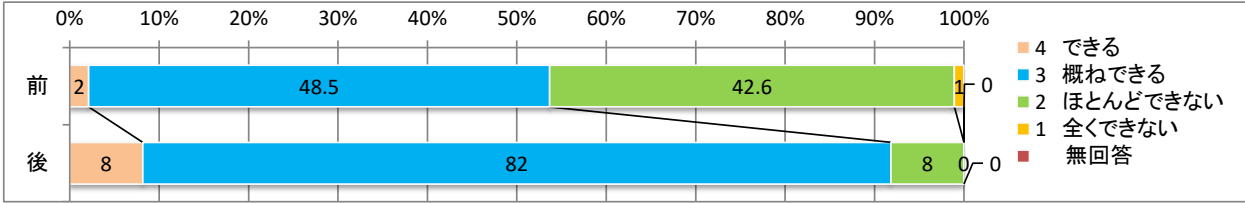
令和3年度介護支援専門員専門研修課程 I・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-3ケアマネジメントの演習「認知症に関する事例」		
実施日	令和3年7月15日	受講者数	98名

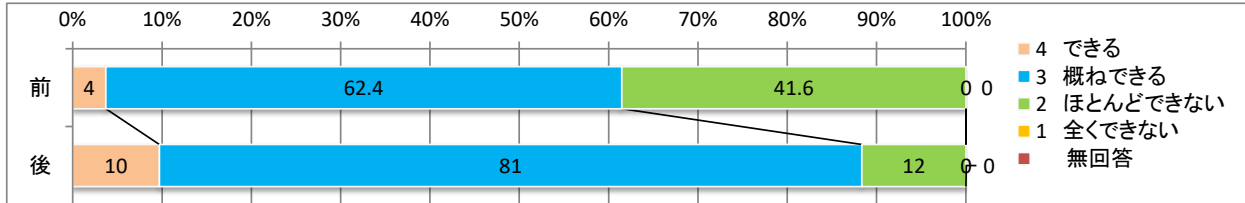
①認知症や精神疾患に関する医学的・心理的基礎知識について説明できる。



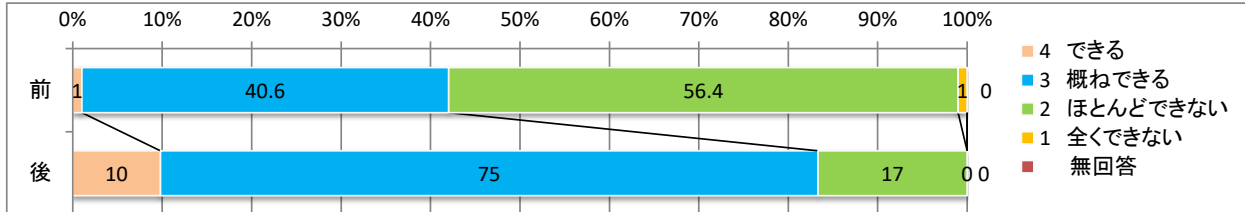
②認知症施策に関わる多職種連携について説明できる。



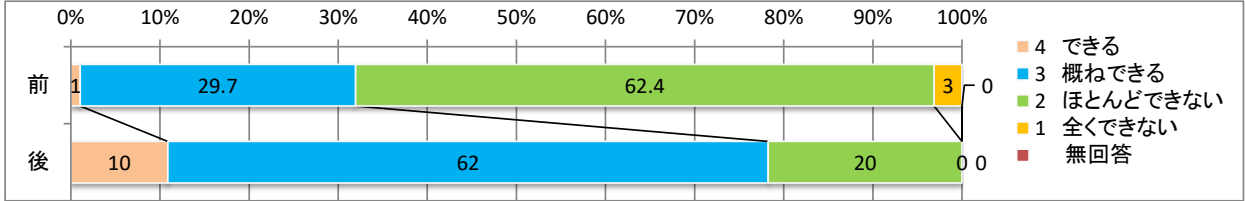
③認知症等の状況に応じた対応方法の提案を実施できる。



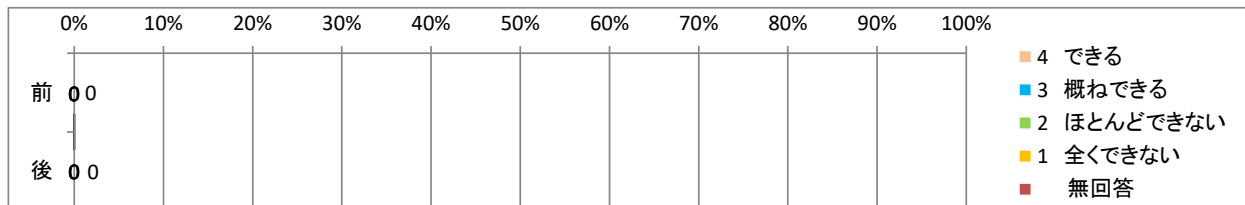
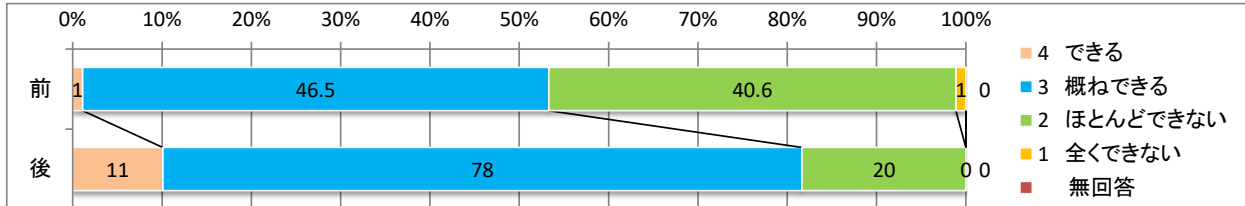
④認知症等の利用者だけでなく、家族が地域での生活を継続できるように支援するケアマネジメントを実施できる。



⑤個別の認知症状等に合わせて地域の社会資源(インフォーマルサービス等)の活用を実施できる。



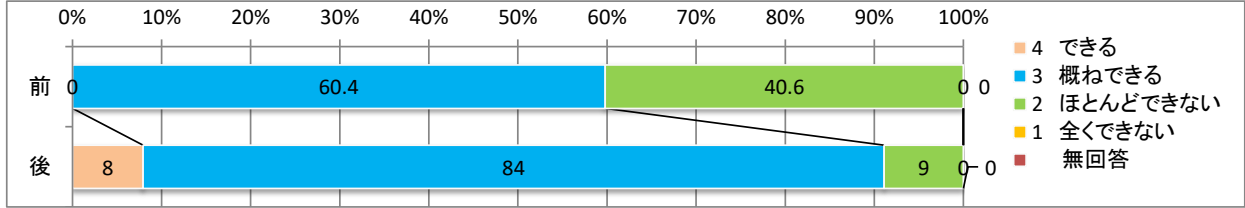
⑥認知症等について、複数の対応策の提案を実施できる。



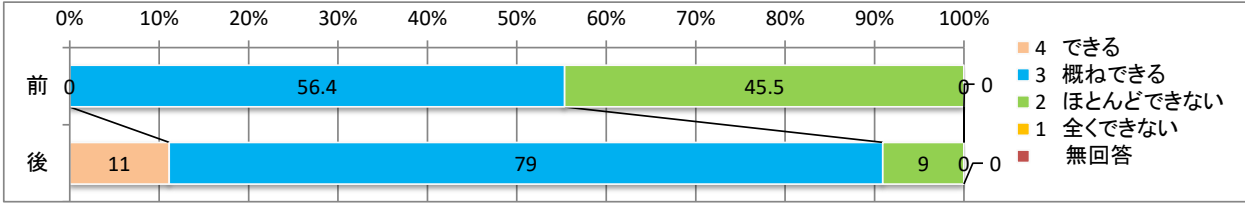
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-4ケマネジメントの演習「入退院時等における医療との連携に関する事例」		
実施日	令和3年8月9日	受講者数	101名

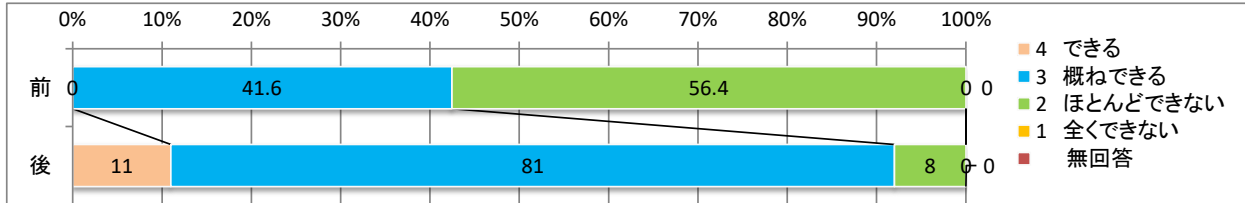
①高齢者に多い疾患の特徴とその対処法について説明できる。



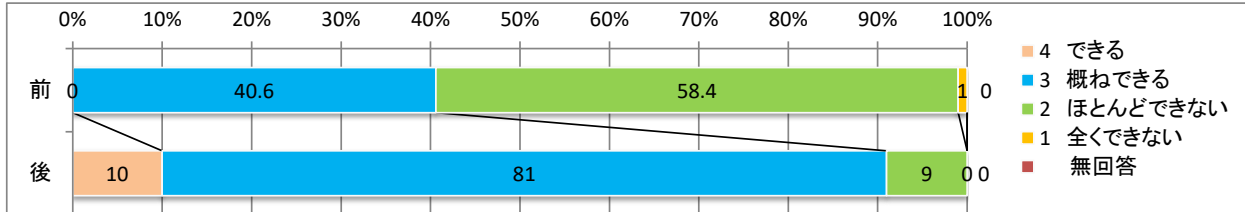
②高齢者の感染症の知識とその予防法について説明できる。



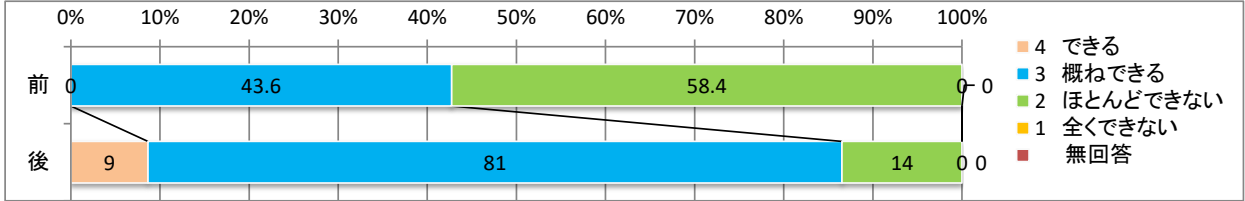
③医療機関との連携方法に関しての様々な方法について説明できる。



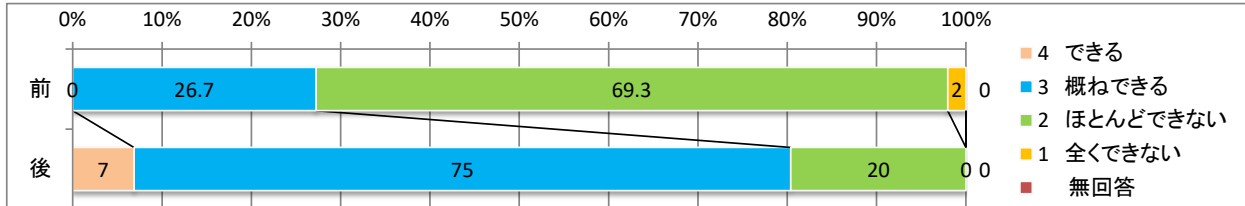
④入退院時等に必要の利用者のアセスメントを理解し工夫を実施できる。



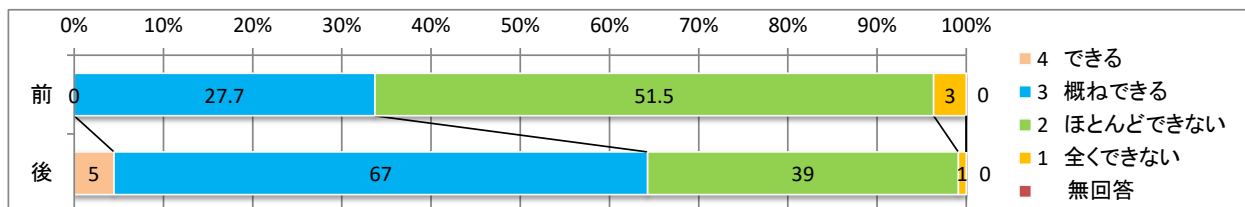
⑤高齢者の入退院時等に関する多様な背景を理解し、ケアマネジメントを実施できる。



⑥入退院時等の医療との連携について、複数の対応策の提案を実施できる。



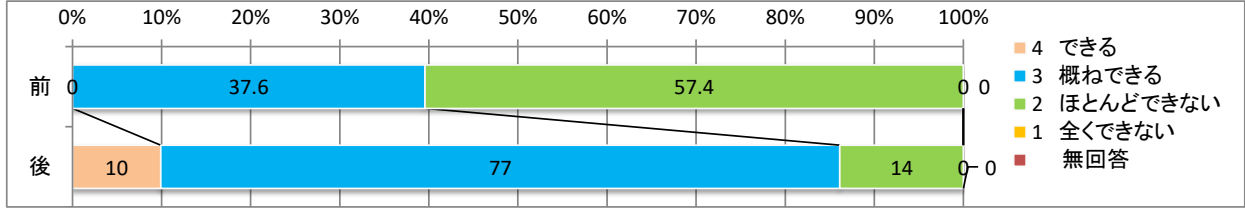
⑦入退院時に合わせた地域の社会資源の活用を実施できる。



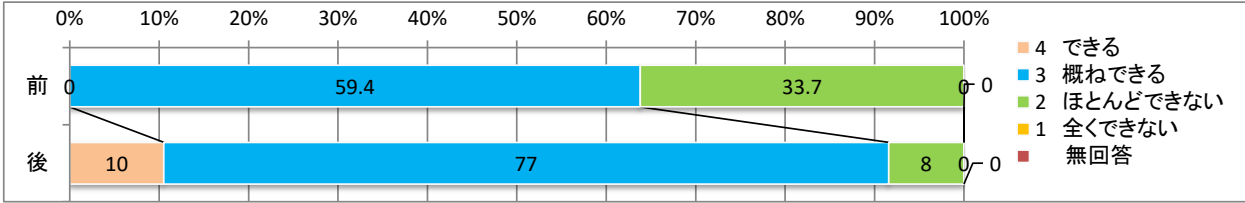
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-5ケアマネジメントの演習「家族への支援の視点が必要な事例」		
実施日	令和3年7月21日	受講者数	101名

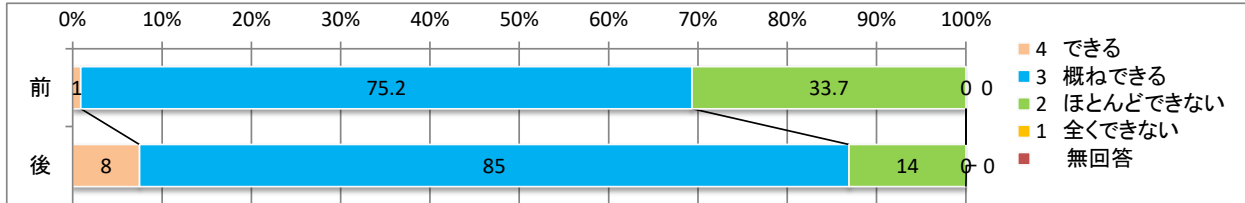
①家族支援に有効な社会資源について説明できる。



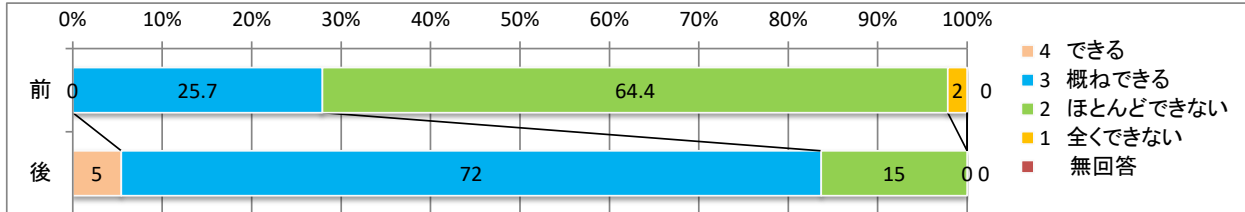
②家族関係に配慮しながら利用者支援の工夫を実施できる。



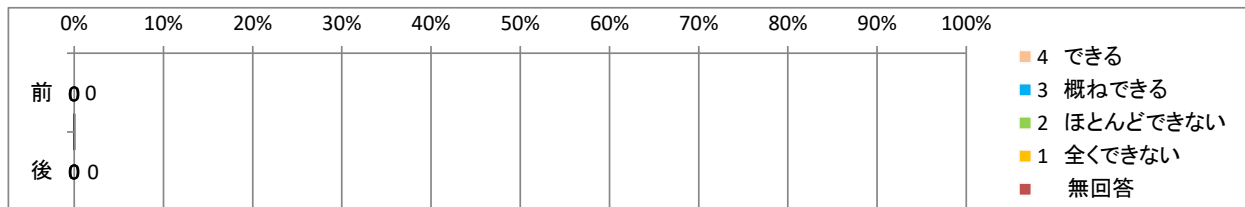
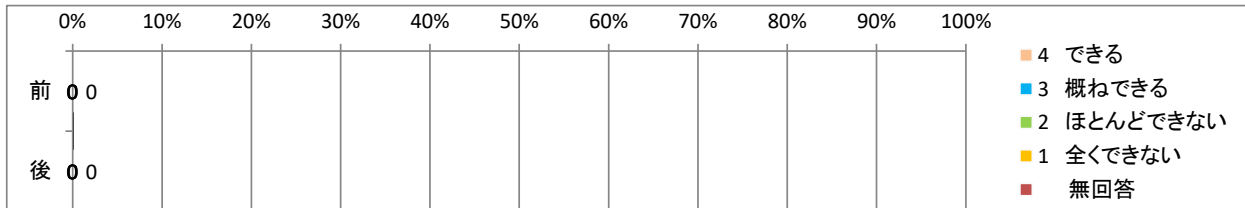
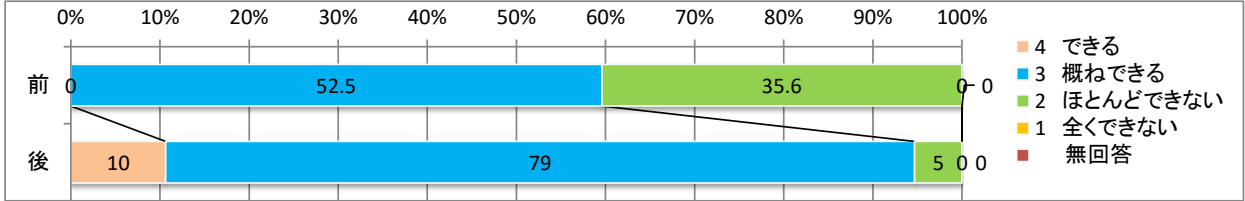
③家族の健康状態や介護に対する思いを理解し利用者支援を実施できる。



④家族関係や家族状況に合わせて、多数の社会資源(インフォーマルサービス等)の提案を実施できる。



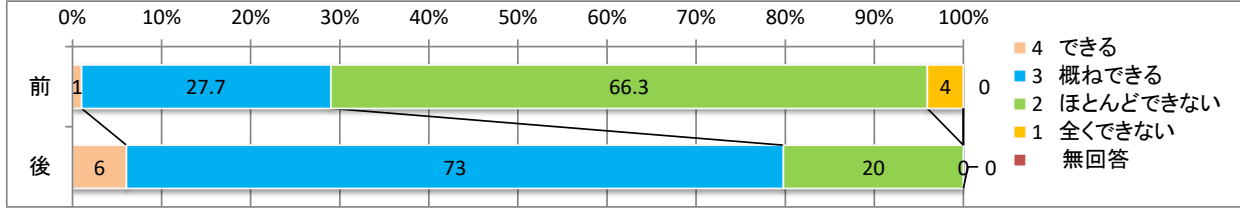
⑤家族の社会的状況も配慮しながらケアマネジメントを実施できる。



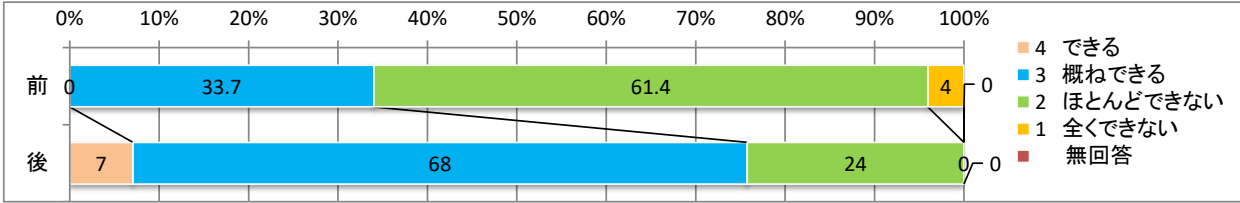
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-6ケアマネジメントの演習「社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例」		
実施日	令和3年7月21日	受講者数	99名

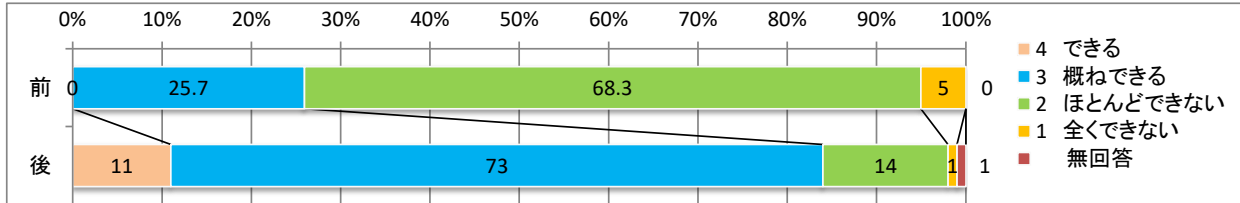
①生活保護制度、障がい者施策、成年後見制度等の制度と介護保険制度の関係について説明ができる。



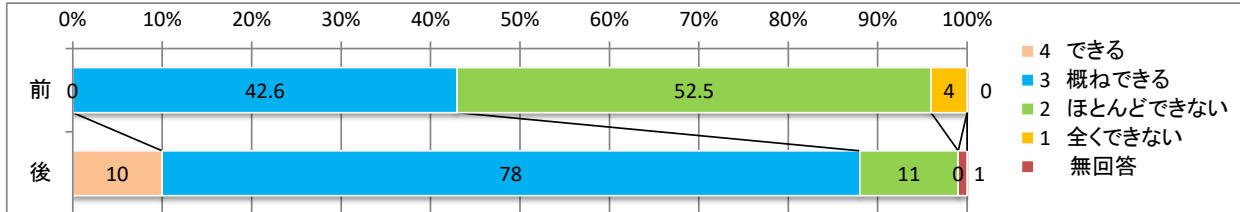
②生活保護制度、障がい者施策、成年後見制度等の制度と介護保険制度の活用内容について説明できる。



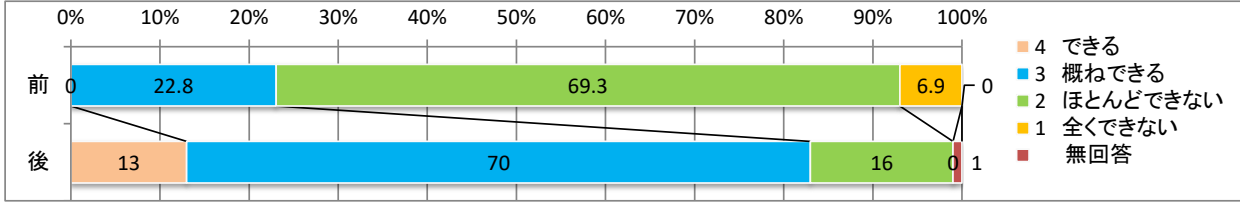
③生活保護制度、障がい者施策、成年後見制度等の制度等、いずれかの制度を活用した事例を用いてチームケアの必要性を述べる事ができる。



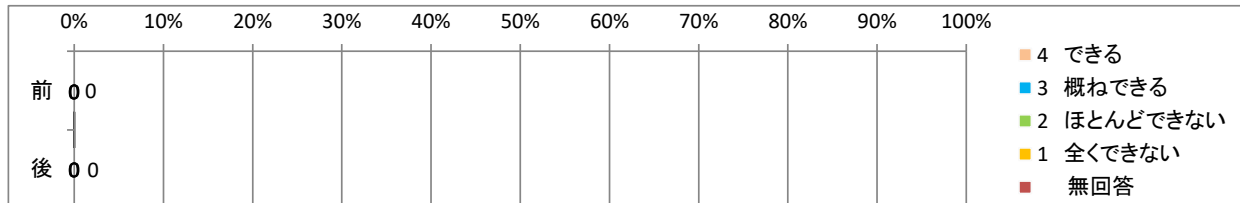
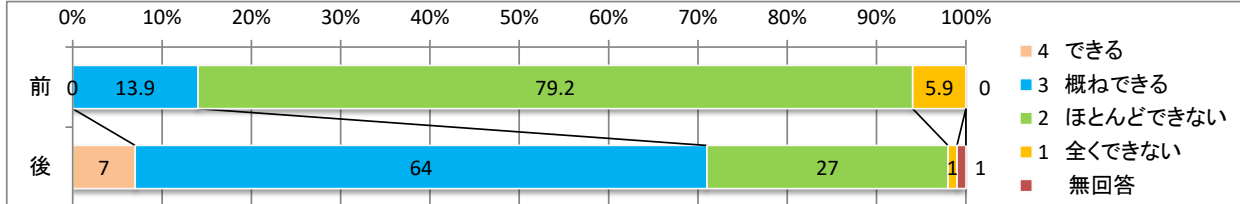
④インフォーマルサービスとの関係や個人情報保護についての対応について説明できる。



⑤多数の社会資源の活用を必要とする具体的事例を挙げることができる。



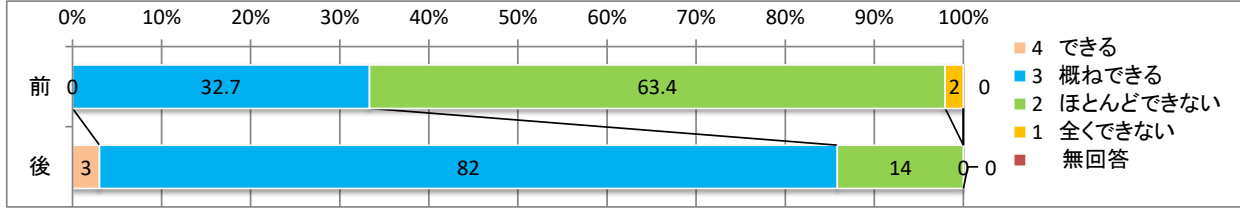
⑥虐待事例、他制度活用事例、インフォーマルサービスの連携が必要な事例等に対してアセスメントのポイントを解釈した最大限の社会資源の活用を実施できる。



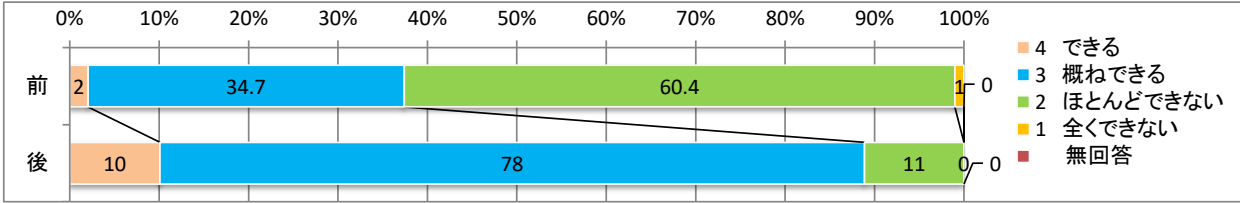
令和3年度介護支援専門員専門研修課程 I・更新研修(実務経験者)

科目名	⑥-7ケアマネジメントの演習「状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービスや施設サービス等)の活用に関する事例」		
実施日	令和3年8月26日	受講者数	99名

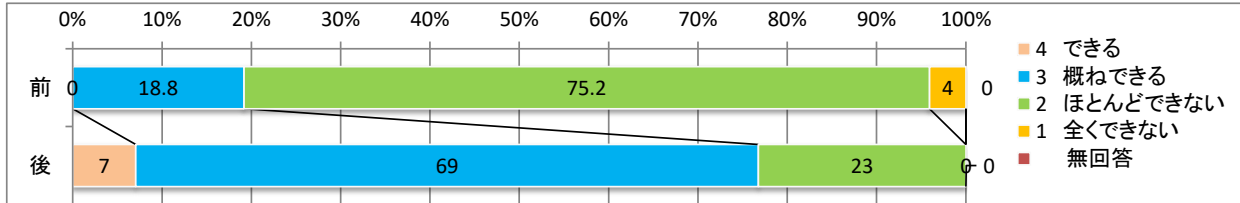
①定期巡回・随時対応型訪問介護看護の意義と効果について説明できる。



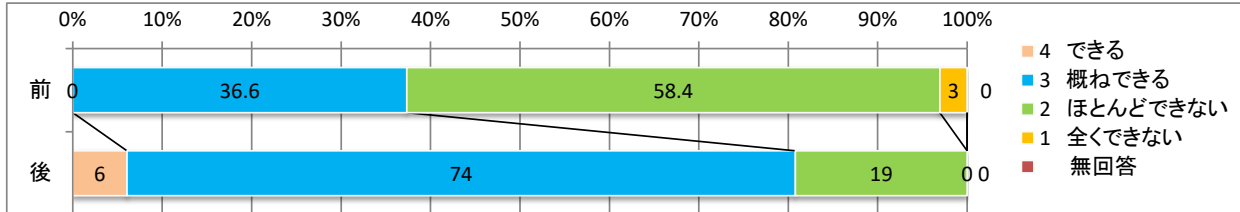
②小規模多機能型居宅介護、複合型サービスの意義と効果について



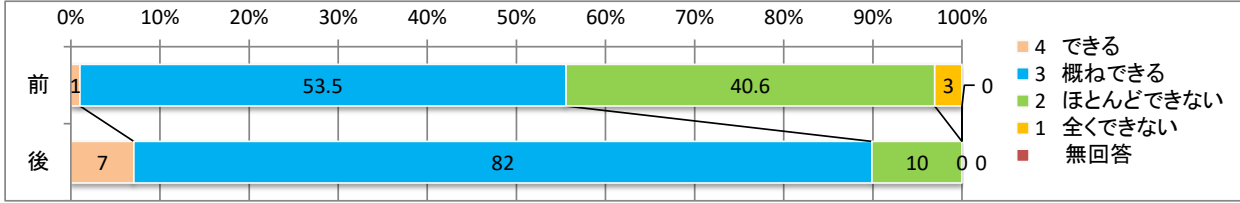
③上記①、②のサービスを活用する際の重要な視点・連携方法について説明できる。



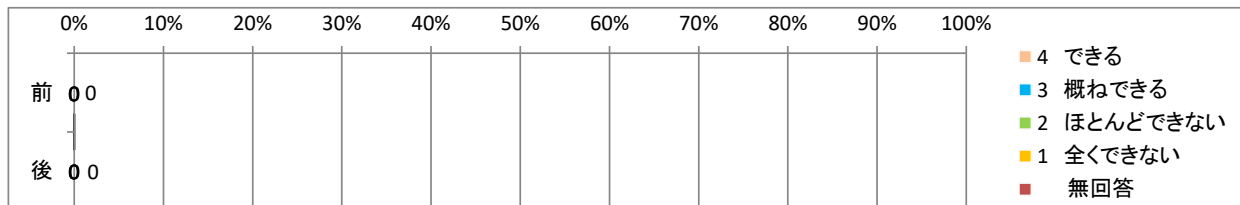
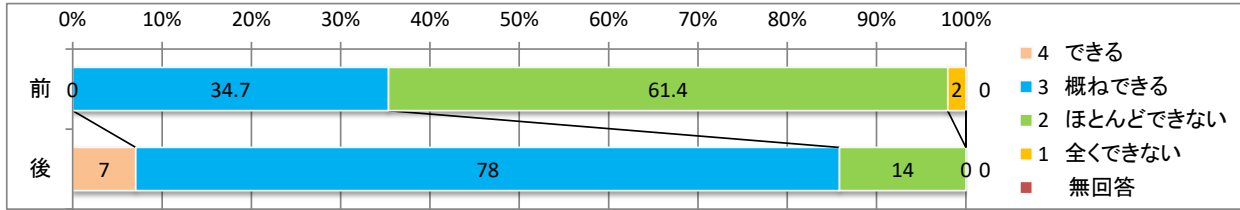
④地域の多様な社会資源(インフォーマルサービス等)を活用したケアマネジメントについて説明できる。



⑤施設サービス等の特徴と利用する際の留意点等を説明できる。



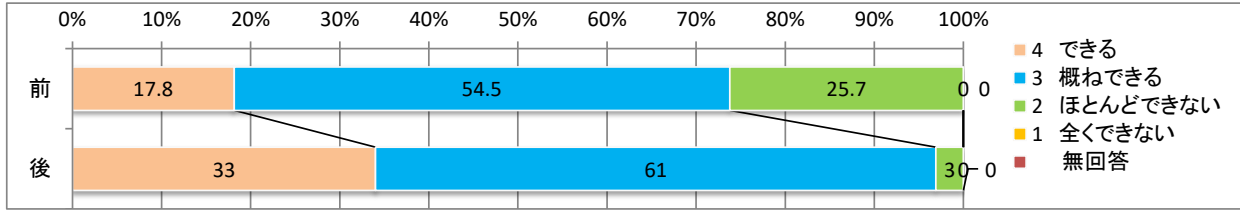
⑥状態に応じた多様なサービスについて、複数の対応策の提案を実施できる。



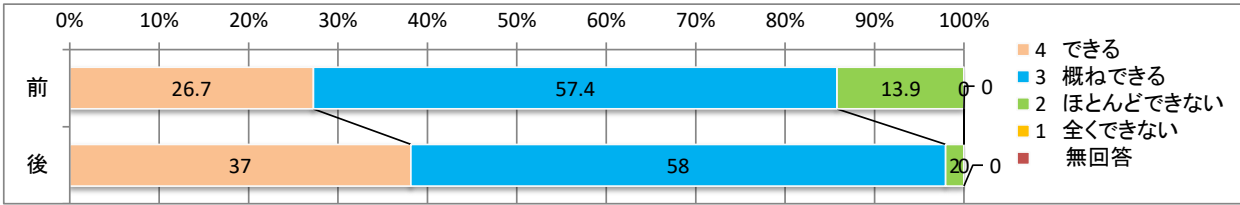
令和3年度介護支援専門員専門研修課程 I・更新研修(実務経験者)

科目名	⑦個人学習での学習及び介護支援専門員相互間の学習		
実施日	令和3年7月6日	受講者数	97名

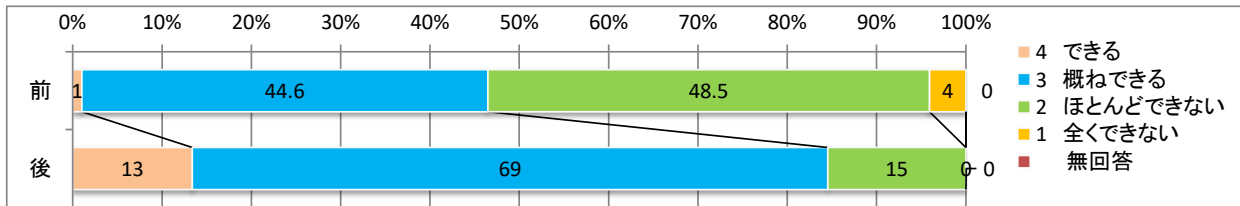
①個人学習や実践活動を促進するために指導を受けることができる。



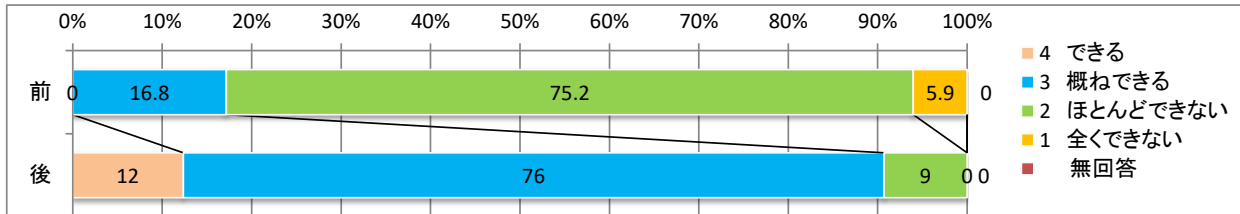
②自らが指導を受ける態度に配慮できる。



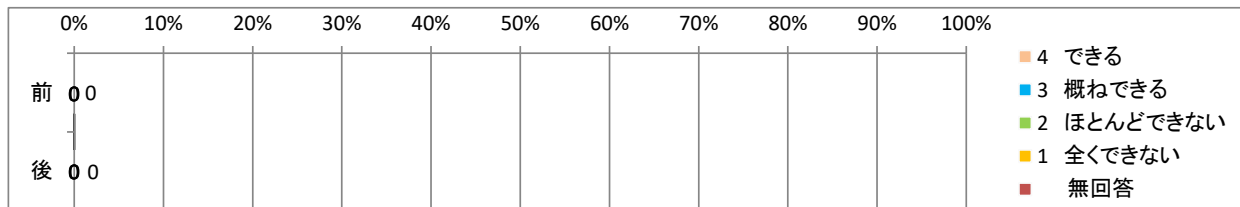
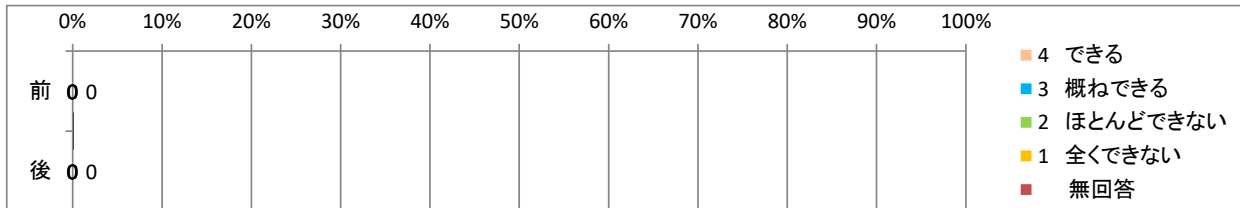
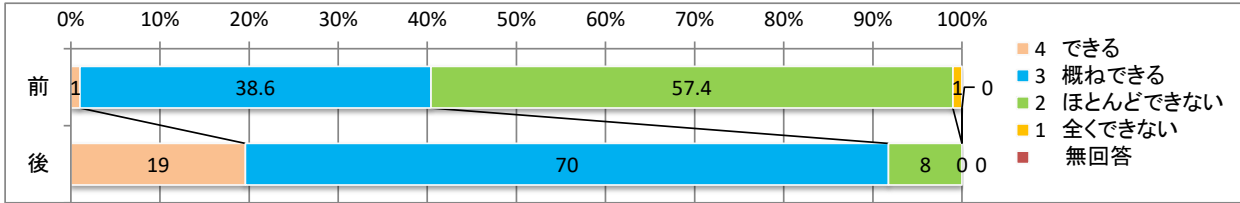
③生涯学習を意識して自己学習の計画の立案を実施できる。



④教える為の考え方・内容・方法(コーチング・スーパービジョン等)の意義について説明できる。



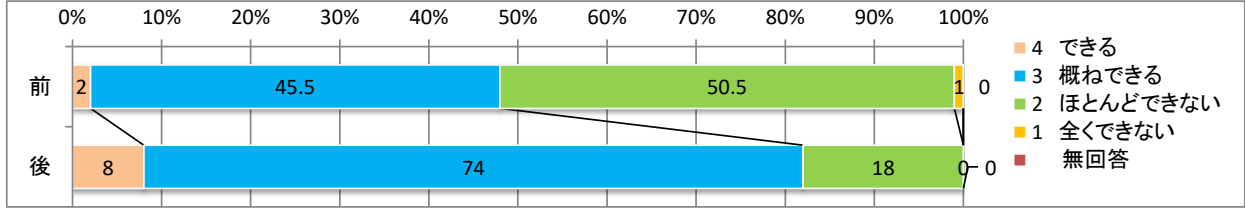
⑤自己評価と他者評価の必要性について説明できる。



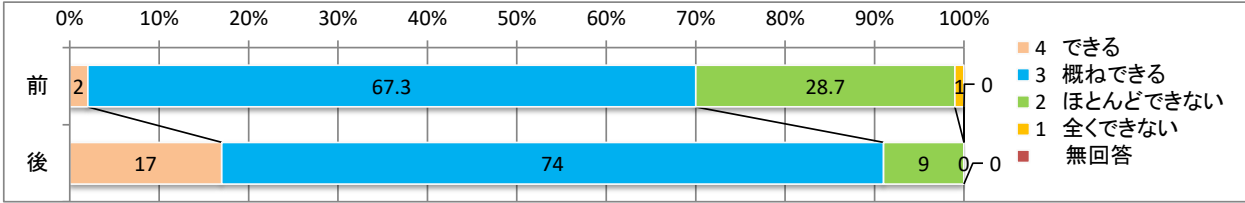
令和3年度介護支援専門員専門研修課程Ⅰ・更新研修(実務経験者)

科目名	⑧研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り		
実施日	令和3年8月26日	受講者数	100名

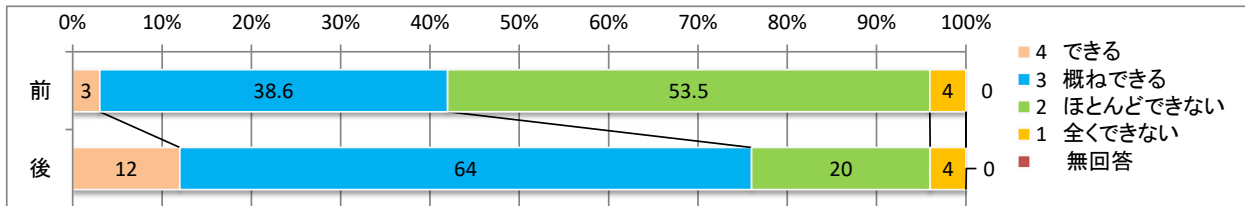
①指導する側と受ける側の姿勢について説明できる。



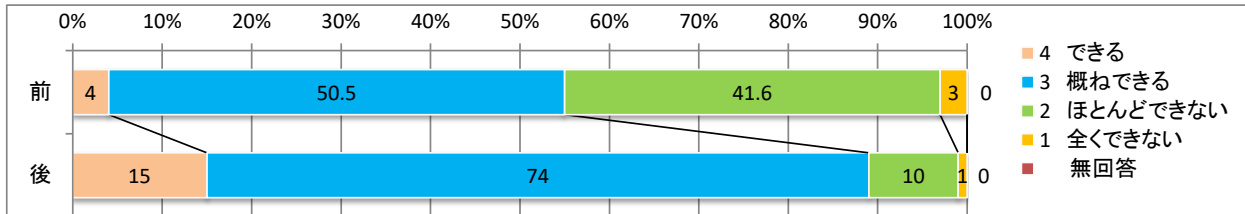
②学習内容や個人としての振り返りを実施できる。



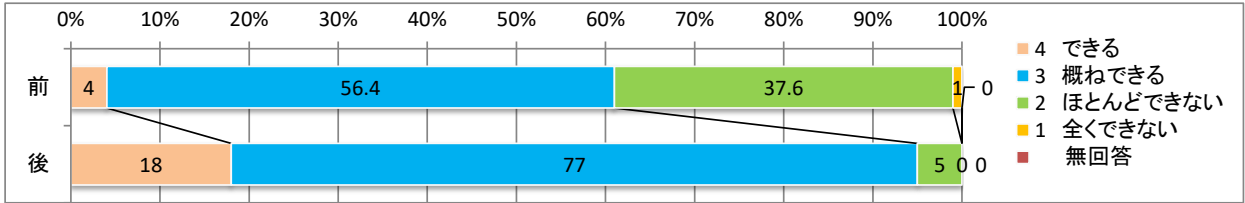
③地域での学習活動の振り返りを実施できる。



④継続した自己研鑽の意義について説明できる。



⑤研修受講者間での意見交換により今後の学習課題を判断できる。



⑥研修受講者間でのネットワークの構築を実施できる。

